

## 第35回 かたの環境を考える委員会

### ■概要

- ・日時：2012年3月6日（火）18:30～21:30
- ・場所：交野市役所 別館3階 中会議室
- ・内容：計画書案の最終確認、作業チームごとの準備作業 ほか



### ■進行・内容

#### ★18:30 交野市環境保全課長より開会の挨拶

来年度の組織変更について紹介があった。

環境保全課は「みどり環境課」と名前が変わり、自然と山、現在は農とみどり課が担っている自然部門をあわせて担当することとなる。

#### ★18:35 全体ガイダンスと本日の議題確認

#### ★18:45 計画書案の冊子を見ながら、構成と内容を全員で確認

- ・カラーは表紙と裏表紙のみ。
- ・委員の一言メッセージについて、まだの方は今日提出してほしい。
- ・「委員会からのメッセージ」について、市の計画書に載るため、表現に一定の配慮をいただきたい旨について、松川課長より説明があった。原稿案を全員で再度検討した。

(1) 「子供達の笑顔が戻ったので」→「子どもたちの笑顔が増えたので」と変更する。

(2) 「パパ、ママ、こないだね……」（両親の揃っていない家庭に配慮を）

(出された意見)

- ・「パパ、ママ」は、「ねえ」にするとよい。
- ・「今年もホテルが楽しみだね」にしてはどうか。交野にとってホテルは大事。
- ・絶滅危惧種であるメダカであることに意味がある。
- ・もとはアメンボだったのを、委員からの意見を受けて、メダカに変えたものだ。

(結論)

「ねえ、こないだね、小川でメダカを見つけたよ」とする。

(3) 最後の“御礼”は、こういう場合、普通はつけないので、不要ではないか。

(出された意見)

- ・御礼よりも、私たちの今後の意気込みが入った方がよい。
- ・「さあ、みんなで力を合わせて、環境のまちと言われるような“かたの”にしよう。」
- ・「さあ、みんなで力を合わせて、環境のまち“かたの”にしよう。」
- ・「さあ、みんなで力を合わせて、環境のまち“かたの”にしましょう。」
- ・上の行から続けて、「子どもたちのこんな声があふれる、環境のまち“かたの”にしよう。」

(結論)

- ・御礼の内容はとる。

・上の行から続けて、「子どもたちのこんな声があふれる、環境のまち“かたの”にしてい  
きましょう！」を最後に入れる。

(4)『“とかいなか(都会と田舎)”そんな言葉が似合う街、それが交野市。ある方は「生まれ  
も育ちも交野市なんです。天野川のせせらぎは心地よいですね。」とあるご家族は「先  
日、交野市に引っ越してきました。子どもたちの笑顔が増えたので、とても嬉しくて！」  
そして、「私の職場は交野市内にあります。自然あふれる土地で働いてみたくて……』と  
する。

(5)「放射能汚染」のことは、大きな問題として入れた方がよいという意見が再度出てきたの  
で確認したい。

(出された意見)

- ・現地で頑張っている人がいる中、交野で放射能のことなど言うのは問題がある。この前、  
入れないと決まったのに、なぜ蒸し返すのか？
- ・十分に議論が尽くされていないで、それでいいのかという意見が後から出てきている。こ  
れでは困るので、もう一度、確認しておきたい。
- ・交野らしくということを考えたら、言葉上は海洋汚染も必要ない。世の中で問題になって  
いる放射能は、大きな話だ。抜く方が不自然であるように思う。
- ・交野の問題だけに限るとしても、海洋汚染はみんなの中に、前からずっとあったもの。放  
射能の問題とは話が違う。
- ・前回、放射能を抜いた理由は、交野で解決できる問題ではないから。
- ・いま私たちが交野の環境を良くするためには何が出来るかを考えるべきであって、この委  
員会で扱うのはそぐわないと思う。
- ・放射能の問題は大気汚染や海洋汚染にも含まれるので、前回いったん決まったのであれば、  
入れなくてもいいのではないか。
- ・「ごみ問題など」の「など」に含むと、前は決着したと思っていた。放射能汚染の問題  
は交野市とは関係ないというのは違うと前回に申し上げた。市民の活動がなければ、原子  
力関連施設が交野にできていた。福井がだめになれば琵琶湖の水も汚染されるのだから、  
関係はある。しかし、「など」に含めるならいいと思う。

(結論)

放射能汚染の問題は入れない。

(6)「今、環境保全に目を向けると」→「今、環境問題に目を向けると」とする  
その他の細かい文言は、担当委員とコーディネータで相談して決めることとする。

★19:45 グループワーク 分野別ページの確認

★20:30 休憩

★20:45 作業チーム毎ワーク

★21:25 事務連絡

次回の委員会で、完成した環境基本計画(案)を市長に手渡す人



を誰にするか話し合った。グループから一人ずつ代表を出すこととし、メンバーを決定した。

打ち上げについて話し合った。まず、次回の委員会の中で、小さなお祝い会をする。また、19日以降の別の日に、お祝い会を開催することについて、調整した。27日（火）か30日（金）の夜、予算は3000円から4000円、30名程度で、担当の委員が場所を設定する。

★21:45 終了

## ■グループ議論の詳細

### 【エネルギーグループ】

環境基本計画書の内容について、グループ関連ページのレイアウト原稿を見ながら、最終的な確認を行った。

#### 1. 「そらいけ！ソーラーパネル」

図表のキャプションも含めて、太陽光発電機 を 太陽光発電設備 に変える。

他、プロジェクトシートの中の不要な文字等の削除

#### 2. 「星のまち☆エコドライブ」

評価の基準 以下のとおり、内容をより明確にした。

エコドライブ実践者・取り組み事業者数が毎年増えている。

エコドライブの普及にともなって、大気中窒素酸化物濃度が低くなる。

交通事故が減少している。

#### 3. 「風を活かしたまちづくり」

・文中の 涼みどころ（陽だまり処） を すべて「天然の涼みどころ（陽だまり処）」に変更する。（頭に 天然の を付け、「 」で囲む）

・評価の基準 応募数 を 指定数 に変更

・「かたのサイズ”をめぐす像”の順を、数の小さなものから並び替える。

9 → 40 → 65 （9の位置を、他の行にあわせる。）



### 【エコ生活グループ】

環境基本計画書の内容について、グループ関連ページのレイアウト原稿を見ながら、最終的な確認を行った。

#### 1. 「生ごみを堆肥化しよう」

・目的 消却量⇒焼却量

・資料 四条畷⇒四條畷

#### 2. 「売ってエコ 買ってエコ」

・目的 売り手（企業）と買い手（消費者）⇒売り手と買い手

・写真キャプション

エコバック⇒エコバッグ

#### 3. 「めざせ！かたのエコ達人」

・活動内容 【第2段階】 ※（かたのエコ達人 説明文）

講座の講師に行く等⇒講座の講師を務める等

・図版ページ （以下の説明文を追加）

座学、実験、工作、フィールドワークなどを通して子どもから大人まで楽しめる講座を実施していきます。



## 【まちづくりグループ】

### 1. 「めざせ！かたのエコ達人」についての説明

まちづくりのプロジェクトと「先行プロジェクト：めざせ！かたのエコ達人」の関係について、説明があった。

### 2. まちづくりのプロジェクトについてメンバーで確認

#### (1) 「自転車が似合うまち・かたの」

・市内の歩行者・自転車の交通事故発生場所のマップについて、交野市以外の範囲も入っているため、歩行者と自転車の事故数について再度確認する。

・下段の写真のキャプションを「自転車が利用しやすい環境に」に修正する。

#### (2) 「誰もが利用しやすいバスを走らそう！」

・市内のバス停から 300m 圏内のマップについて、説明を（2011 年、交野便利マップより作成）とする。



## 【自然環境保全グループ】

環境基本計画書の内容について、グループ関連ページのレイアウト原稿を見ながら、最終的な確認を行った。

### 1. 「自然環境分野」の名称について

「自然環境保全グループ」という名前で活動してきたが、計画書の分野名は「保全」の言葉が消え「自然環境分野」となったことについて、コーディネータから説明があった。

### 2. 「里山を知ろう、里山大好き」

#### 29 ページ

・活動内容 第1段階 里山活動団体のネットワーク化

→ 里山保全活動団体のネットワーク化

・活動内容 第1段階 2) 里山整備等を目的とした活動団体相互の

→ 里山整備等を目的とした活動団体（里山保全活動団体）相互の

・活動内容 第2段階

「2)」を削除し、次の「3)」を「2)」にする。

・評価の基準 里山保全活動への参加者数が

→ イベント・学習会・調査等への参加者数が

30 ページは特に問題なし。



### 3. 「実践！里山保全活動」

31、32 ページは特に問題なし。

### 4. 「山の持ち主と活動団体の縁結び」

#### 33 ページ

・活動内容 第3段階 2) 里山保全団体 → 里山保全活動団体

- ・活動内容 第4段階 1行目 里山保全団体 → 里山保全活動団体
- ・評価の基準 協定件数 → 土地所有者と里山保全活動団体をつないだ実績

#### 34 ページ

- ・右上の写真説明文 下草刈り → 下刈り (31 ページの表記と揃える)
- ・中央のイラスト  
矢印を、手を結んだイラストに変更する (イラスト担当：西原委員)  
その手の先に、それぞれ「里山保全活動団体」「山の所有者」と書き添える

### 5. 「生きものいっぱい！豊かな川づくり」

#### 35 ページ

- ・実施主体 ボランティア団体 → 河川環境保全団体

#### 36 ページ

- ・2枚の鳥の写真の掲載許可を、前野鳥の会会長に取る。

## ■作業チーム議論の詳細

### 【計画書作成・PRチーム】

#### 1. 本日のテーマ

交野市環境基本計画・概要版の検討

#### 2. 表面について

- ・カラー刷り、市民に呼びかけるイメージで作成してある

#### 3. 中面について

##### (1) 全体の構成として検討したこと

- ・ビジョンとプロジェクトを離す
- ・見やすくするために分野ごとにカラーで分ける
- ・分野がまたがらないように縦系列にまとめる

(左ページ縦に自然環境分野，右ページ縦にエコ生活分野，エネルギー分野，まちづくり分野)

- ・ビジョンの背景に交野の四季の写真を入れる

##### (2) 文字、文言の訂正と追記したこと

- ・「エコ良人」にふりがなをつける 「・・・ろじん」
- ・自然環境分野で訂正箇所

「山の所有者と山を愛する人をつなぎ」→「山の所有者と活動団体をつなぎ」

##### (3) 写真、イラストについて検討したこと

- ・太陽光パネル写真の挿入
- ・36ページの右上写真挿入

#### 4. 裏面について

- ・業務時間表示はカットする
- ・HPアドレスを表示する
- ・FAX番号は変更になる



### 【組織づくりチーム】

#### 1. 本日のテーマ

環境基本計画推進組織の準備会について

#### 2. 議論内容

司 会：4月以降も今の時間帯（月・火曜の夜）で会議を開いていくとみんなが集まりやすいと思うがいかが。

委 員：良い。

保 全 課：あと2回の会議で計画の推進組織の立ち上げの議論を詰めることは困難。まずは準備会を立ち上げることが必要だ。

司 会：準備会について話し合う時間を、委員会とは別に設けたいがいかが。

環境市民：生駒市の例でいうと、準備会には各グループから役員を出していた。同様にするのであれば、次回に役員を決めると今日告知した方がよいのでは。

委員：役員を出して少人数ですすめるのは楽だが、それ以外の人から離れていってしまう可能性がある。

委員：でも、まとめ役は必要だ。

保全課：準備会の役員と推進組織の役員は別々に考えないと、選出された人の負担が大きい。また準備会の役員を選出するなら今日中に告知しないといけない。

委員：組織づくりチームの人間がまとめ役（以下「幹事」）になってはどうか。

保全課：形式的には3月末で環境を考える委員会は解散し、委員への委嘱も終了する。だから、組織づくりチームの人＝準備会幹事というわけにはいかない。

環境市民：全体の下承が必要だということ。

司会：やはり臨時の会合が必要では。

保全課：このチームは各グループから集まってきているので、チーム内で下承が得られるのなら、組織づくりチームの人が幹事になってもよい。もちろん代わりの人をグループ内から出してくれてもよいし、他にやりたい人が加わってもよい。それなら臨時に集まらなくても4月以降のことを決められる。

環境市民：次回、他チームの人に、組織づくりチームの人が準備会の呼びかけ人となって、4月以降の会議の開催を提案するということがよいか。

委員：よい。

### 3. 決定事項

次回、全体に向けて幹事を決める提案をする。



#### 【先行プロジェクトチーム】

##### 1. 先行プロジェクトとは

組織強化（人集めや担い手づくり）のために分野を越えてみんなで取り組むプロジェクト。

##### 2. 先行プロジェクトとして、実施するプロジェクト

「めざせ！かたのエコ達人」※他にもあるかもしれない

##### 3. 「先行プロジェクト」という名前が良いか

先行プロジェクトという名前が、各分野で優先的に取り組むプロジェクトと混同し、誤解を招く可能性があるため、名前を新たに考えることにした。

（出た意見）

- 案① 優先共同（協働）プロジェクト
- 案② 共通プロジェクト
- 案③ 環境学習プロジェクト

・案②は、生駒市と同じ名前なので、却下。オリジナリティを出すため。



・案③は、中身を示したものとして、大変わかりやすいが、先行プロジェクトの内容が、今後環境学習（めざせ！かたのエコ達人）だけになるとも限らない。それ以外の取り組みを網羅する名前にする必要がある。もっと大きく先行プロジェクトの目的を伝えるものでなければ。

・案①の優先共同（協働）プロジェクトは、優先的にみんなでやるという意味を持つので良い。

協働：異なるもの同士がそれぞれの得意分野を活かして一緒に行うこと

共同：単に一緒にやる

⇒同じ組織のメンバーが一緒にやるので、「共同」という文字を採用

（結果）

案① 「優先共同プロジェクト」 に決定した。

☆宿題 「めざせ！かたのエコ達人」の中身である環境学習プログラムのテーマを考えてくる。

以 上